

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 11 月 29 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

### ◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

#### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・11/29 12:06 淡水化装置からバッファタンクに送水する屋外装置の配管からピンホールによる水の漏えいを確認(漏えい推定量:約 500cc)。その後、当該ホースを交換し、漏えいが停止したことを確認。

#### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

### ◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元→移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/10 9:10～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・11/15 9:25～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋→仮設タンク	・11/29 10:00～16:00 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (11/29 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位:O.P.+ 2,168 mm(水位上昇累計:3,385 mm) 11/28 7:00 から 40 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位:O.P.+ 2,126 mm(水位上昇累計:2,852 mm) 11/28 7:00 から 121 mm 上昇

### ◇トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (11/29 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.+ 850 mm (11/28 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,321 mm (11/28 7:00 から 33 mm 上昇)	O.P.+ 4,044 mm (11/28 7:00 から 29 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,004 mm (11/28 7:00 から 23 mm 下降)	O.P.+ 3,015 mm (11/28 7:00 から 24 mm 下降)	O.P.+ 3,131 mm (11/28 7:00 から 20 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,236 mm (11/28 7:00 から 13 mm 下降)	O.P.+ 2,984 mm (11/28 7:00 から 17 mm 下降)	O.P.+ 3,197 mm (11/28 7:00 から 14 mm 下降)
4号機	—	O.P.+ 3,012 mm (11/28 7:00 から 15 mm 下降)	O.P.+ 3,015 mm (11/28 7:00 から 31 mm 下降)

## <放射性物質のモニタリング>

### 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	11/28	7:15	ND	0.13	0.11
福島第一 1~4号機放水口南側約 330m	11/28	7:35	ND	0.03	0.02
福島第二 1,2号機放水口南側約 7km	11/28	7:55	ND	0.02	ND

・その他、福島第一原子力発電所沿岸 1 地点(11/28 採取分)、沖合 3 地点(11/27 採取分)における主要 3 核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)および茨城県沖合 5 地点(11/21~23 採取分)については全て ND。

## <使用済燃料プールの冷却> (11/29 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22～)	17.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21～)	22.4 °C
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33～)	20.4 °C
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08～)	27 °C

【2号機】・11/6～ 使用済燃料プール放射性物質除去装置の運転を開始。

・11/28 9:12 使用済燃料プール循環冷却システムの一次系ポンプの出入口の流量差が大きいことを示す警報が発生し、当該システムが自動停止。その後、現場確認により漏えい等がないことを確認。

11/29 11:50 システム停止の原因が流量検出器(差圧計)の計装配管にごみ等の詰まりが発生し、正常動作していないと考えられたことから、圧力をかけた状態で当該計器のフラッシングを行うため、当該システムを起動。フラッシング後、流量検出器は正常に動作しており、運転状況について継続監視中。

【4号機】・11/29 10:58 使用済燃料プール水の塩分濃度を低減させるため、新たに設置したイオン交換装置の本格運転を開始。

## <原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況> (11/29 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 4.5 m <sup>3</sup> /h)	43.5°C	44.5°C	115.7 kPaabs*
2号機	淡水注入中 (給水系:約 3.0 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 4.4 m <sup>3</sup> /h)	70.3°C	75.9°C	111 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 2.1 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 6.0 m <sup>3</sup> /h)	59.4°C	67.9°C	101.5 kPaabs

※「プラント関連パラメータ(水位・圧力・温度などのデータ)」のうち、1号機原子炉格納容器圧力(ドライウェル圧力)について、5月11日午後5時から11月29日午前5時まで、誤りがあることが判明。これはD/W圧力の算出にあたり使用していた補正式の誤り(5月11日午後5時～10月28日午前5時のデータ)及び、運転員の被ばく低減を目的にデータ採取計器を本設計器からデジタルレコーダーへ変更した際の補正漏れによる誤り(10月28日午前11時～11月29日午前5時のデータ)であり、11月29日午前11時より正しい補正式にて値を算出。

【1号機】・11/29 9:55 原子炉圧力容器内への窒素封入ライン設置工事に伴い、格納容器への窒素封入装置を停止。

11:05 工事終了により、窒素封入装置を起動。

11:30 定格流量(28Nm<sup>3</sup>/h)に到達。

・11/29 10:13～10:28 給水系からの注水量を約 4.2m<sup>3</sup>/h から約 4.5 m<sup>3</sup>/h へ調整。

【2号機】・11/29 13:47 原子炉圧力容器内への窒素封入ライン設置工事に伴い、格納容器への窒素封入装置を停止。

14:21 工事終了により、窒素封入装置を起動。

14:37 定格流量(26Nm<sup>3</sup>/h)に到達。

【3号機】・11/29 10:13～10:28 給水系からの注水量を約 1.9m<sup>3</sup>/h から約 2.1 m<sup>3</sup>/h へ調整。(炉心スプレイ系からの注水量は約 6.0 m<sup>3</sup>/h で継続。)

【4号機】【5号機】【6号機】特に変化なし。

## <その他>

・10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5, 6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・11/29 11:10～13:50 2号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいてサンプリング作業を実施。

・11/29 9:24～13:00 大型クレーンによる3号機原子炉建屋上部においてダストサンプリング作業を実施。

・11/29 12:30～13:00 3号機原子炉建屋1階大物搬入口付近において、ロボットによるダストサンプリング作業を実施。